

日時 平成23年10月26日(水)2校時
授業者 教育センター所員 宮西 紀生

1 単元名 Lesson 7 “World Englishes” (PRO-VISION ENGLISH COURSE II 桐原書店)

2 教材観

本単元では、第2言語や外国語として英語が使われる中で生まれた“World Englishes”とはどのようなものか、そして“World Englishes”が発展していくことで今後英語が担う役割について述べられている。生徒たちは、英語が広く使われることによる、英語学習の必要性を認識し、今後は英語の国際基準が英語学習者にとっての出発点となり得ることがテーマとなっている。

3 生徒観

英語への興味・関心は高く、積極的に学習に取り組んでいる。教科書の音読では大きな声で正しい発音を意識して読むことができる。また、クラスの間人間関係が良好で、ペアワークやグループワークでは積極的に活動を行うことができる。しかしながら、話す活動や書く活動については苦手意識をもっている生徒が多いので、英語を使ってコミュニケーション活動を行うことで、お互いに学び合いながら自己表現を行う機会を作りたい。

4 指導観

ア 生徒の活動を中心とした授業

新学習指導要領で「授業を実際のコミュニケーションの場面とするために、授業は英語で行うことを基本とする」と示されていることから、教師が英語を使うだけでなく、生徒が英語を使う場面を多く設定する必要がある。各活動では生徒が話しやすいようにペアワークを基本とし、言語活動を楽しみ、失敗が許される雰囲気の中で行いたい。また、聞き手には相づちや“Good”, “That’s interesting.”といった positive feedback を行うことを促して実際のコミュニケーションの場面としていきたいと考えている。

イ 4技能を統合的に扱う授業

読んだ内容について平易な表現で聞き手に伝えたり、聞き手は聴いた内容をメモして報告をする。また、読んだ内容や学んだことに基づき、自分の考えについて書くなどする。このように4技能を結び付けた言語活動を行うことで自己発信をすることができる能力を育成したいと考えている。

ウ 自律した学習者を育てる授業

授業が小さな成功体験の場となるように、教師から、あるいは生徒同士で“Good try!”や“I like the idea.”といった「動機付けのための英語」を多く使うようにする。英語に苦手意識のある生徒であっても自信をもつことができるようにし、英語を学び続ける動機付けを行いたい。また、本単元では本文の内容と関連させて、英語を学ぶ意義について生徒自身に答えを考えさせたい。このような模範解答のない問いに対して思考させることを通して、自律した学習者の育成を図りたいと考えている。

5 単元の目標

- ア 相手が分かりやすい英語表現やジェスチャーなどを使って伝えようとしている。 [関心・意欲・態度]
- イ 学んだ内容に基づき英語で自分の考えを書いたり、話したりすることができる。 [表現の能力]
- ウ 本文を読んで、情報や考えを理解したり、概要や要点をとらえることができる。 [理解の能力]
- エ if のない仮定法の用法を理解する。 [知識・理解]

6 単元の評価基準

関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
様々な工夫をすることで、コミュニケーションを続けようとしている。	得た情報や自分の考えを英語で正しく書くことができる。	読んだ内容について概要や要点を把握することができる。	学習で取り扱われた言語やその運用についての基本的な知識を身に付けている。

7 指導計画

- 1, 2 時間目 : Part1 (p91-92) 3, 4 時間目 : Part2 (p93-94)
- 5 時間目 : Part3 前半 (p94-96 5 行目) 6 時間目 : Part3 前半の復習と後半 (p94-p96) 本時
- 7 時間目 : Part3 後半 : (p96) 8, 9 時間目 : Part4 (p97-98)

8 前時の目標

本文の概要や要点をとらえることができる。

9 前時の授業展開

学習活動	形態	○教師の指導・支援 ◎評価の観点
(Small talk) ペアで会話をする。聞き手はメモを取り、聞いた内容を発表する。	ペア	○ 教師が例を示す。発表後には生徒と簡単なやり取りをして、授業の雰囲気づくりをする。
(導入) インドで話されている英語と中東で話されている英語を動画で視聴する。ペアで動画の興味深い点を話し合う。	個人 ペア	○ 動画の興味深い点を確認し、普段の授業で耳にする英語とは発音が違うことに気付かせる。
(本文の内容把握) ワークシートを完成させて本文の概要や要点を捉える。新出語句の説明を聞く。	個人 一斉	◎ 本文の概要や要点を理解することができる。 [理解の能力]
(音読) 個人やペアで音読を行う。	ペア	○ 机間指導を行い、個別に生徒を援助する。
(まとめ) 「英語を母国語とする人以外の英語は間違っ たものなのか」という問いについて考える。	個人 一斉	◎ 読んだ内容について自分の考えを発表することができる。 [表現の能力]

10 本時の目標

英語学習の必要性について、学んだ内容や経験に基づいて自分の考えを書くことができる。
(表現の能力)

11 本時の授業展開

学習活動	形態	○教師の指導・支援 ◎評価の観点
<p>Small talk(10分)</p> <p>1 与えられたトピックの中から1つを選び、ペアで会話をする。</p> <p>2 聞き手はメモをとり、聞いた内容を発表する。</p>	<p>ペア</p> <p>全体</p>	<p>○ 3つのトピックを与える。コミュニケーションを続けようとする工夫を促す。</p> <p>○ 話された内容について質問やコメントをして話題をふくらませる。</p>
<p>前時の復習(10分)</p> <p>1 本文を黙読し、前時のテーマである“World Englishes”のキーワードと思う語句を3つ選んでワークシートに記入する。</p> <p>2 ペアでキーワードを確認する。</p> <p>3 共通して選んでいたキーワードを全体に発表する。</p> <p>4 Native speaker 同士の英語には違いがないのかを考える。</p> <p>5 カナダのテレビコマーシャルを見て、ペアでアメリカとカナダの英語の違いを2つ挙げる。</p> <p>6 もう一度動画を見て確認する。</p>	<p>個人</p> <p>ペア</p> <p>全体</p> <p>個人</p> <p>ペア</p>	<p>○ 机間指導をし、英語の苦手な生徒への支援を行う。</p> <p>○ ペアでキーワードを確認することで、自信のない生徒でも発表がしやすい雰囲気をつくる。</p> <p>○ 生徒が発表したキーワードをまとめ、内容を確認する。</p> <p>○ “World Englishes”から Native Speaker の英語にも視点を向けさせる。</p> <p>○ カナダとアメリカの英語の違いを述べている2点に注意をして視聴させる。</p>
<p>自己表現活動(25分)</p> <p>1 英語教材の広告を作るために、2つの宣伝文句を考える。</p> <p>①本文の内容に基づくもの</p> <p>②自分の考えや経験に基づいたもの</p> <p>2 ペアやグループで作品を見せ合う。</p> <p>3 面白い作品を全体で紹介する。</p>	<p>個人</p> <p>ペア</p> <p>グループ</p>	<p>○ 英語教材を宣伝するという場面設定で、平易な文で英語学習の必要性を伝えようとする文を考えさせる。ICT機器を使って活動内容の確認をする。</p> <p>◎ 学んだ内容や経験に基づいて自分の考えを書くことができる。[表現の能力]</p>
<p>課題の指示(5分)</p> <p>p96 5行目～15行目を読んで、本文の内容を基に平易な文で3つめの宣伝文句を考える。</p>	<p>個人</p>	<p>○ 必要に応じて辞書を引くなどして該当箇所を精読した上で文を考えるように伝える。英語が苦手な生徒には「お助けシート」を渡す。</p>

画期的英語教材!!

“Speed of light learning”

Learner's voice

この教材を使って毎日3時間一生懸命に勉強を続けたら、いつの間にか英語ができるようになってい
ました。
I am very happy now !



※個人の感想です。効果には個人差があります。

O.E さん

If you master English, you can...

①

②

③